



土浦カレーフェスティバル

会長 溝口 隆一 幹事 福田 昭一

- 例会場 ホテルマロウド筑波
TEL.029-822-3000
- 例会日時 火曜日 12:30～13:30
- 事務局 土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F
TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
- ホームページ <http://tsuchiura-src.jp>
- Eメール info@tsuchiura-src.jp

2017～2018年度
国際ロータリーテーマ



ロータリー：
変化をもたらす

2017年11月28日 19号
2017年11月21日 第3例会報告



地区HP



地区行事予定

- | | | | |
|------------------|----------|---------------|----------------|
| 1. 点 鐘 | 溝口会長 | 6. 点 鐘 | 溝口会長 |
| 2. ロータリーソング斉唱 | | 7. ロータリーソング斉唱 | |
| (奉仕の理想) | | (それこそロータリー) | |
| 3. ニコニコボックス発表 | 阿部副S A A | | |
| 4. 出席状況報告 | 出席委員会 | | (司会進行 高野S A A) |
| 5. 卓 話 | | | |
| 「東風高校I A C 活動報告」 | | | |
| 東風高校I A Cの皆さん | | | |

本日のプログラム

ロータリー財団月間に因み「財団出前卓話」を、地区ロータリー財団・地区補助金担当の高橋信子様から伺います。

次週のプログラム

12月5日(火)は、年次総会に引き続き、土浦ユネスコ協会会長 稲本修一様からお話を伺います。

出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3名以上欠席卓	メイクアップ	出席訂正率
名	名	名	%	卓	卓	名	%
93	70	6	77.78	なし	3・7・8・9	14	93.33

【出前卓話】

国際ロータリー第2820地区ロータリー財団委員会

地区補助金担当 高橋信子 会員



それではこれより東風高校 I A C の活動報告をしていただきます。今日はこの3人に報告をしていただきます。阿部さんは今度、タイの方に研修で行く予定になっています。それでは、活動報告をお願いします。

東風高校 I A C の活動報告を行います。

東風高校インターアクトクラブには、児童・高齢者福祉委員会、募金・国際交流委員会、美化委員会（園芸）の3つの委員会があります。

児童・高齢者福祉委員会は、保育園や老人ホームでボランティアを行います。プルミっ子保育園では、勉強を教え、一緒に遊びます。プルミエールひたち野では清掃ボランティアなどをします。月に一度のペースで訪問しています。

募金・国際交流委員会は、エコキャップ運動、緑の羽根募金や赤い羽根などの募金活動を行います。緑の羽根募金は、5月に行います。今年度は、一週間で8,100円もの募金が集まりました。また、11月より、赤い羽根の募金活動をはじめました。一週間に2度ほど昇降口付近で行っており、12月半ばまで続けていきたいと思えます。

エコキャップ運動は、例年1月後半から半年ほど行います。今年度は、夏休みにキャップの蓋をあらい、発送までの準備をおこないました。

短期交換留学（タイ）も軌道に乗ってきました。昨年は、現在2年生の森山花恋さんが参加しました。今年は、阿部南奈子さんが参加いたします。例年、タイで踊りなどを発表します。今年は、南中ソーラン踊り、空手の型を披露し、賛美歌を歌います。残り一カ月でしっかりと練習したいと思えます。

環境美化（園芸）委員会は、学校周辺の環境整備に力を入れています。

野球部を中心に、神立駅と校舎周辺のごみ拾いを週に一度のペースで行っています。また、環境美化の園芸委員会は、今年2年目の活動になっています。本来は何もない場所でしたが、ごみを拾うことから始め、花を植えることで少しずつ花壇ができてきました。昨年度に比べ、活動する人数、回数も増え、少しずつ充実し始めました。

3年生が引退する際は、全員がチューリップの球根を植えます。そのため、今は、いつもよりも多い頻度で枯れた草を刈り、球根を植えられるよう花壇を整備しています。

土浦南のローターアクトクラブの方と協力しながら活動をしています。毎年海の日、泳げる霞ヶ浦祭りが水郷公園で行われます。今年は、7月17日に開催されました。1年生の羽成佳祐君、嶋田敬介君、中山喜斗君、倉知香菜さん、高市遥さんが参加しました。金魚すくい、ヨーヨー釣りなどの出店を手伝いました。また、土浦花火大会の翌日、ごみ拾いを行います。今

年は10月8日の日曜日早朝より始めました。1年生の遠藤里菜さん、2年生の坂本千佳さん、3年生の大熊美穂さんが参加しました。例年よりもたくさんのゴミを拾うことができました。

7月30日から8月2日までの4日間、沖縄研修にいきました。3年連続での沖縄研修です。今年は、1年生の小川晃弘君と3年生の櫻井遥さんが参加しました。

1日目は、茨城空港より那覇へ向かいました。その後首里城を訪問しました。

2日目は、沖縄屈指の聖地である斎場御嶽を訪問しました。その後、糸数アブチラガマ、ひめゆりの塔を訪問し、戦争の悲惨さを感じました。

3日目は、沖縄戦の爪痕が残るハクソー・リッジ、嘉数高地を見学しました。その後、辺野古新基地建設予定地を見学しました。

4日目は、おきなわワールドにある玉泉洞に入り、琉球ガラスづくりを体験しました。

沖縄研修は、他校の生徒さんと交流することも楽しみの一つです。また、ロータリアンの方々からお話を聞くのもよい経験です。

そして、現地でしか感じるできない声を聴くのも沖縄研修のだいご味です。沖縄が抱える問題を数多く学ぶ機会となりました。

自分たちができることを少しずつ増やし、今できていることを継続しながら、活動を盛り上げていきたいと思います。今後とも、ご支援の程、宜しくお願いいたします。



緑の羽根募金



泳げる霞ヶ浦フェスティバル ボランティア①



泳げる霞ヶ浦フェスティバル ボランティア②



プルミっ子保育園ボランティア①



ブルミっ子保育園ボランティア②



美化活動①



ペットボトルキャップ回収



園芸



短期交換留学（タイ）



土浦花火清掃ボランティア

3年1組の岡田桃香さんが日本女子プロ野球機構の入団テストに合格をいたしました。男子の野球部に交じって練習をしてきました。公式戦には出場できませんでしたが、1年生の時から活動をしてきました。茨城新聞にも大々的に取り上げていただきました。

それから夏に沖縄に参加をしてくれた桜井さんが弁護士を目指しているのですが、安倍首相の母校である成蹊大学に合格いたしました。こちらも快挙ということでご報告をさせていただきます。IACで活動している子ども達が頑張っているいい結果を出していると思います。以上で、報告とさせていただきます。本日はありがとうございました。

楠 英 夫 青少年奉仕委員長

私がIACに関わって4年ぐらい経ちますが、徐々にですが組織的にしっかりとしてまいりました。初めは子ども達もやらされていたというところが多かったのですが、最近では子ども達が自主的にやるようになってきて、どんどん伸び伸びとやっているということを実感しています。先ほどご紹介のあったプロテストに合格した岡田桃香さんは、1年生の時から例会には必ず出席し、いろいろな奉仕活動にも参加していました。その桃香さんがプロの選手になるということはやはり奉仕の精神を持ってきているからだと思います。運動をしている子は、いかに奉仕の精神を持って社会貢献をできるのかを学んでほしいということを何回か話をしたことがあります。それぞれ志の高い子ども達が多く、いろいろな目標を持って頑張っている子ども達も多く、IACを通し活動をしていただいていると思っています。東風高校自体も挨拶をしっかりとする子ども達が多く、このような基本的な事にもきちんと取り組まれている事は嬉しく感じています。

ぜひともIACという区切りの中だけではなくて青少年の奉仕というローターアクトも含めてひとつの大きな流れがほしいということと、IACのメンバーが「ロータリー」をもっと知っていただけるような活動ができればと思いますので、今後とも皆様、IACの活動へのご協力、宜しくお願い致します。

稲 本 修 一 青少年奉仕総括委員長

予定にはありませんでしたけれども、地区の総括という役割を仰せつかっておりますので、地区から見た青少年奉仕ということをお話しさせていただきます。

ご存知のように地区では、IAC、RAC、青少年およびRYLA委員会、そして青少年交換委員会があります。

IACは今、発表がありました通りに県内には5つのクラブがあります。東風高校が一番新しいクラブで80人ということで部員数では断トツでございます。皆さんにもこの東風高校IACをぜひ盛り上げていただきたいと思います。特に花壇の整理というのがありまして、面積も広くてできたらロータリアンの皆さんも奉仕活動の一環として彼らと一緒に花壇の整理ができると学校に対しても我々の存在をアピールできるといういい機会になろうかと思っております。

RACは特に今回は、本年度3月に全国RAC研修会というのがあります。800人位のローターアクター、そしてロータリアンが集まります。これを茨城で開催するというので、RACのメンバーは定期的に実行委員会を開催して準備を進めているところでございます。何か各クラブに要請がありましたら、是非とも応えていただければ有難いと思っております。

RYLAは、10月に大洗のこどもの城で二泊三日の研修会がありました。60人ぐらいの参加者がおりましたけれども、非常にいいプログラムで参加したRYLAの研修生は大変意義があったということをアンケート結果に答えてくれているのを拝見いたしました。

青少年交換ですが、本日も来てくれている阿部さんもタイの研修に12月の末に1週間行きます。それぞれのIACから選抜された5人がタイに行き、タイのロータリアンのお世話を

受けてタイの高校生との交流し国際理解を深める体験学習です。IACは国際理解というのが大きなメインテーマでもありますので、国際理解を深めるうえでもいい機会になると思います。

長期交換というのもあります。これはアメリカとタイとフランスと交換をしますが、今回は3人試験を受けました。面接と筆記試験をおこないます。残念ながら1人のお子さんは筆記試験の結果がかなり低く不合格となりました。

今回は、アメリカとフランスに送るということで決定しました。彼らの約10カ月間の海外生活については、7月に青少年奉仕研究会にて、彼らが帰国報告をするわけです。その帰国報告を聞くと素晴らしく本当に感動いたします。自分の言葉で、海外での様々な苦勞を含めた体験を堂々と発表します。可愛い子には旅をさせるという諺もあるように、若い時に全然知らないところに行き、苦勞して、そこでいろんなことを学んで来る、そういうことが着実に彼らの財産になっているということを私たちは感じるができます。それは我々委員会としては大変嬉しいことでもあります。今回合格した2名も来年6月には出発しますが、そのために必要な研修がこれから始まります。

本日お話致しましたIAC, RAC, RYLA, 青少年交換等, 青少年奉仕委員会の活動をご理解いただき今後ともご支援を宜しくお願い致します。ご清聴ありがとうございました。